

1. プログラム名：バリアフリー

2. 目的：

- スタッフとして車椅子利用者の案内・誘導を体験する。
- 車椅子利用者や障害者の立場でどのような施設が利用しやすいかを考える。

3. 内容

内容	活動	活動の目的
1. 車椅子利用者の案内 (15分)	車椅子利用者を映像ホールへ案内する 車椅子利用者をエントランスから映像ホール内へ案内・誘導する。	スタッフとしての車椅子利用者の案内・誘導を体験する。
2. 施設の確認  (1時間)	1. 確認 館内の車椅子利用者・障害者向け施設がどこにあるか確認する。  2. まとめ 気づいたこと、改善すべき点等をまとめる。	科学館の施設が車椅子利用者・障害者用にどのように配慮されているかを知る。  科学館が車椅子利用者・障害者の立場で利用しやすい施設であるか考える。

4. 場所：エントランスホール受付，映像ホール，常設展示室（「現代産業の歴史」展示室・「先端技術への招待」展示室・「創造の広場」展示室）ほか

（ ）内の時間は活動に必要なおおよその時間を示す。